



# Canvas

キャンパス



Instagramにて  
宝塚地域子育て情報発信  
を行っております!

@takarazuka.shakyokosodate



~子どもたちにとっての「第3の居場所」を目指して~

## クマの学食



🏠 会場：小浜ミニシアター

📍 住所：小浜2丁目1-19

📅 実施日：毎週水曜日

🕒 時間：16時～20時

小学生19時まで

中学生以上20時まで

💰 参加費：無料

👜 持ち物：勉強道具

✉ 問合せ：Instagram  
(インスタグラム)



Instagram二次元コード

@kuma\_no\_gakushoku\_

今回ご紹介する居場所は、「クマの学食」。

大学生や大学院生の学生ボランティア（約40名在籍、主に関西学院大学の学生）が、宝塚市内の企業2社の協力を得ながら実施。大学生に勉強を教えてもらうことができ、美味しいカレーも食べることができます。

学生ボランティアや友達と過ごす時間は、子どもたちにとって楽しいひと時でしょう。ワイワイ明るい雰囲気、毎週30名程の参加があります。



宝塚料理店さん提供の美味しいカレー

「お兄さん、お姉さんはどんな小学生だったの?」「大学で何を勉強してるの?」「なんで勉強を頑張らないといけないの?」こんな話から、将来の夢や、やりたいこと、なりたい自分を見つけるきっかけになればと、代表の藤沢さん。

▶裏面には、藤沢さんへのインタビューを掲載

クマの学食 代表  
藤沢 陽さん



## はじめたきっかけは？

クマの学食を立ち上げたのは、「まち（地域）に自分が高校生の時に通った保健室のような第3の居場所を作りたい」という想いからです。

学校生活やアメフトも好きで頑張っていたけれど、大人数の場になると発汗や、倒れてしまうことも。それがストレスで、保健室へ通うようになりました。保健室には、私生活や体調のことなど、様々な事情を抱えた生徒が通っていたのですが、他の生徒や保健室の先生と過ごす時間は楽しく、居心地が良い空間でした。ちょっとしんどくなったら保健室へ行っていましたね。

高校3年生になり、アメフトは怪我で二度とプレイできなくなったのと同時に、コロナ禍で目指していた留学もできなくなりました。自分がこれまでに頑張ってきたこと、頑張ろうとしていたことが全てなくなり、すごく落ち込みました。ですが、自身のこれまでを振り返り、ボランティア活動に興味があったことや、大学で都市計画について学んでいることに繋がればと思い、友人に声を掛け「クマの学食」を立ち上げました。

毎週実施を継続するという事は、学生にとって大きな負担があります。今後続けていくにあたり、学生ボランティアを増やすことや仕組みづくりをすることで、皆が安心して継続できる「クマの学食」を目指しています。

## 工夫したことは？

立ち上げ当初は参加者が少ないなど課題が多かったですね。みんなで話し合い、改善を重ねました。

「ここは勉強をするところ」など、ガチガチに決まりを作ると参加しづらくなると思い、“子どもたちにとって楽しい場所”を目指しています。

また、他の学部や他校の友人にも協力を得ることで、様々な学生と子どもたちが交流し、勉強以外に将来のことや、何気ない日常のことを話したりできる場になれば、この交流もお互いにとって良い刺激になると考えています。

## 今後の展望は？

今参加してくれている小学生が大学生になった時、ここで教えてくれるという循環ができればと考えています。少し先でいえば、中学生が小学生に、高校生が中学生に教えるのも理想です。

“活動が独立してはいけない”という想いがあります。子どもや親子向けの活動をされている方々との交流会への参加をきっかけに、活動者同士の横のつながりの重要性を感じました。

活動者同士で繋がり、助け合うことで、お互いにより良い活動を実施することができると思うからです。これからクマの学食を見守っていただくと嬉しいです。



## 学生ボランティアの声

自身はボランティアをやっているという風を感じていない。貢献したいとかというよりも、子どもたちと過ごす時間が楽しくて、参加している。

運営することや、子どもたちとの関わりなど、自身にとってプラスの経験になっています。

「クマの学食」はいい意味でボランティアのイメージが変わった。毎回必ず参加という縛りはないので、気軽に楽しく参加しています。

参加のハードルが低いだね！



## 編集後記

“参加している学生ボランティアより「これまで子どもたちと関わる機会がなかった」という声がありました。子どもたちも学生と日常で関わる機会というのは、少ないと思われます。家族や学校の先生とは違う“斜めの関係”の学生。子どもたちにとって、身近に会える学生たちは“憧れ”や“将来像”として捉える存在でもあるのではないのでしょうか。見学するなかで、学生がはしゃぐ子どもたちに危ないと注意する場面や、一緒に遊んでいる場面も。子どもたちはクマの学食に来て学生の背中を見て、勉強以外のルールを守ることや、自分たちもお兄さん、お姉さんの自覚を持つことなど、様々な学びを得ているんだろうなと微笑ましく様子を見ていました。

子どもの居場所が宝塚にたくさんある中で、それぞれ目的や方法など違い、その居場所ならではのカラーがあります。この“キャンパス”では、様々な活動や居場所のカラーで描かれている素敵な活動をお届けしたいと思います。